

## インド「よいとまけ」物語 19

1月30日

建築も急ピッチです。外壁塗りもどんどん進んでいます。当然手法は変わらず、セメントを投げつけて撫でています。その道具が写真に写しました。

下の写真が道具。  
長い板が壁を平らにします。



床は土に鉄筋を置きセメントを塗り、石板を敷くのではなく、レンガを砕き敷き詰めています。  
道具を使い、叩き固めるそうです。水平にする為、何号かで書いた「チューブ式水平器」を使うのですね。

1日の作業が終わると、現場監督者が訓示？  
をして締めくくります。黒い服が監督者です。

現場に写真を撮りに行くと、作業員(特に若い)  
が「写真、写真」と言い、撮ると今度は「見せろ、  
見せろ」で、こちらの仕事は何時もはかどりません。



変圧器と充電器を間違っ使い、壊れました。  
カシアンまで行きましたが、ヒンディ教の祭り  
で店はクローズでした。本当にインドは祭りが多いですね。  
2日後に行き、充電器は修理可能でした。TVらしき基盤を何枚か出し、パーツを探していました。  
あちこちからパーツを見つけ出し、完了です。代金はRs70でした。

お釣りのミスもこの日は多く、修理屋でRs500出し、Rs500が帰り、お釣りとしてRs30が貰えました。  
もう一軒でRs300を出し、Rs5のお釣りがRs50も貰えました。Totalは130+45の儲けでした。  
しかし、修理屋はHpも良く頼むみたいで、Rs100は返しに行きました。儲けRs75! NO Problem!。  
ドライバーのJai Ramと大笑いしながら、Happy、Happyと折半しました。

夕方、Drは日本から来た観光客が体調を崩したようで、ホテルまで飛んで行きました。去年も同じことがあり  
ました。又、日本人以外でも呼ばれています。朝、ホテルから帰ることもあります。医者はどここの国でも過重労  
働です。 **[訂正] 17号「参加者を記入しているサティシュSatish」は「ビカルマードVikarma」でした**